

保護者対応・支援について

- ・パスの回数
- ・白シャツ何回みえたか？
- ・洗脳
- ・白しかみえない
- ・実はゴリラいた
- ・白、白、白と洗脳した
- ・黒いゴリラみえなかった
- ・見えなかった景色をみえるようにする
- ・相談したら傷つく
- ・最後の締めが「お母さんでしょ」
- ・頑張り倒していた
- ・子どもに対してイライラするように
- ・ハッピーな人間がそうでなくなるには理由ある
- ・過去の出来事変わらなくても、過去の意味付けはかわる
- ・トラウマはいまの人生うまくいかないときに、誰かのせい何かのせいにする
- ・子どもに問題おこるとき、親に問題ある
- ・子どもの問題行動
- ・家庭しっかりしてる家はすぐおさまる
- ・男性と女性の関係性に問題がある
- ・子どもに支援するよりも、親をよくする方が早い
- ・親が整っていないと子の人生も整わない
- ・親支援
- ・離婚家庭になると手遅れ
- ・結婚前
- ・顔と顔が見える距離大事。本音出る
- ・「母親でしょ」を枕詞にしない。どん底になる
- ・泣き言、ぐちどんどん言ってもらう
- ・お金がいくらかかるか。
- ・わからないことが不安
- ・夫 検索
- ・悪い言葉ばかり
- ・保育士目指す子が、赤ちゃん抱いたことない
- ・保育士目指す高校生を教える先生が赤ちゃん抱いたことない
- ・子育てを習ったことありますか？

- ・親学
- ・学習の語源はまねをする
- ・人のまねを繰り返す
- ・人間はまねて学ぶ
- ・核家族増えているから、他の人の子育てみえない
- ・ミラーニューロン
- ・にこやかに元気な人みると、にこやかに元気になる
- ・子育てハッピーにしている人の中に入って、ハッピーになって子育てしてほしい
- ・本能で子育てはできない
- ・ミラーニューロン
- ・昔は、母親の本能ないと自分を攻め倒した
- ・母性は本能でなく、環境の問題
- ・ホルモンが出やすいか出にくくないか
- ・ハッピーだと出やすくなる
- ・環境を整えないといけない
- ・環境に適応する人はうまく子育てできる
- ・できない人は
- ・赤ちゃんは、親の能力引き出すチカラ持ってる
- ・本能くすぐることする
- ・おっぱい飲むとき、目を見つめてくる
- ・15センチくらいで、赤ちゃんの目が見える距離
- ・へその緒はおっぱい据えるまでの距離にできてる
- ・子育て下手な人、知らない、見たことないだけ
- ・チンパンジーでも、群れの中で子育てする
- ・隣近所と同じ行動をとりたがる
- ・未受診出産
- ・理由
- ・経済的理由
- ・社会的孤立などは知らないだけ
- ・中学校高校生の早い段階で教えてあげることが大事
- ・核家族など学べない状況になっている
- ・1950年代境に核家族が急増
- ・経済の成長と共に核家族増えた
- ・色んな価値観にふれることが大事
- ・見えてなかった景色、違うものが見えてくる
- ・「お母さんでしょ」「常識でしょ」と言ったらだめ。

- ・知らないだけ
- ・虐待通報
- ・隣近所がするから
- ・育児楽しくなくなる
- ・通報の前にしてほしいこと
- ・一声かけてほしい
- ・なんでもいいから手助けしてほしい
- ・茨木市長、子育て世代に「楽しく子育てして子どもたくさん産んでほしい」
- ・予算つけようか
- ・「それよりも、すぐに隣近所で助け合えるネットワーク」
- ・核家族、地域のつながりないと、お母さん一人、二本の腕しかない、しんどい
- ・子育てだけで誰とも話さない日が続くこともある
- ・妊婦や子ども抱いている人いたら、声をかける法律つくってほしい
- ・厚かましいと思っても、周囲が関わろうとすることが大事
- ・「おせっかいすぎる方がよい」
- ・今の日本それくらいでないといけない
- ・池田小事件でセキュリティ
- ・本来、地域のコミュニティの核
- ・知らない人＝不審者という子どもに洗脳
- ・おっせかい＝不審者と叩き込まれている
- ・話しかけるとびくっとする
- ・大阪のおばちゃんキャラを利用しておせっかい
- ・山梨県立大学 虐待防止 西澤哲教授
- ・支える周りがいないから事件までなる
- ・「母親でしょ」「そんなんもしらんの」と突き放さない
- ・「子どもがかawaiiそう」
- ・子どもが子ども産んでるから仕方ない
- ・そこを攻めても変わらない
- ・みんな望んで妊娠してる人は、幸せになりたいと思っていた
- ・相談する人や場所
- ・保育所の先生や市役所は率低い
- ・夫婦関係と家系に関する実態調査
- ・メラビアンの法則
- ・言葉では7%しか伝わらない
- ・93%は態度で伝わる
- ・家庭内で、けんかや支配の違い

- ・権利のあるものが権利ない者を不当に支配する
- ・子どもに現れる
- ・人間はみて学ぶ生き物
- ・事実の一つだが、見方かえると解釈変わる
- ・対等に
- ・そういう見方もあるんだ、そういう考え方もあるんだ
- ・児童虐待増えてるのは男女間の暴力増えているから
- ・面前DVが底上げされている
- ・ここを減らすと児童虐待減る
- ・普通がわからなくなる
- ・力をつけてあげるようにする
- ・脳は環境に適応していく
- ・発達障害と決めつけない
- ・問題は家庭にある
- ・家庭を支援していく
- ・離婚後親子の絆は保障されない
- ・夫婦の関係は親子関係に持ち込まない
- ・子どものころから教育していかなければならない
- ・マズローの欲求
- ・心のコップ足りないとき
- ・与えてほしい、奪おうとする (give mi love mi)
- ・心のコップ満たされていると、ベクトルが自分から相手、まわりに向かう
- ・女子会通じて、心のコップ満たされ力尽いた人は何かしたくなっている
- ・人の心は愛、感謝で積み上げる
- ・自己肯定感高い親だと、自己肯定感高い子供になる
- ・まずは親の自己肯定感高めてあげる
- ・愛のあまった他人 (おせっかいな人) がコップ溢れさせてあげる
- ・H8境に共働きと専業が逆転
- ・バブルはじけた時
- ・今の方が子育て大変
- ・人の手ないし、虐待通報されるから
- ・パパも疲弊、ママも疲弊
- ・イライラするときの心の解消の仕方
- ・泣き言言えないとき (自信ない時)、心を怒りに
- ・ポジティブシンキングの前に、心の汚物もトイレにする (例えば女子会)
- ・場所関係なくはだめ

- うまく出せるようにする
- いっぱい泣いた後、笑える
- 「大阪大学 親切行動」 検索で論文出る
- 幼稚園児 親切した子供は 12 倍の親切行動が還ってくる
- いじわる行動はパワーバランス崩れたら、悪いものが還ってくる
- さと原人のブログ 非常によい
- 子育てはどうやったらうまくいくか
- 夫婦で「ありがとうって」